

## 地震による住民の避難経路図の作成と防災対策

蛭池北町自治会防災を考える会

コース  
初動  
事業

### 申込内容

#### ■事業の概要

①住民が身近な避難場所にたどりつくためにどの道を選ぶことが安全かを知らせる地図作りをします。

②防災を日常生活の中で普段から考える活動をします。

#### ■目的

六甲・淡路島断層帯による地震の発生時、蛭池北町地区は震度7が想定されることから、住民が防災対策の知識を持ち、備えを行うことを目的とします。

■交付決定額 100,000円  
(事業予算 187,000円)



### ◎活動の様子

蛭池北町自治会防災を考える会では、地震時に住民がいち早く避難場所にたどりつけるよう、地域の避難マップづくりに取り組んでいます。7月20日、まずは、一時的に避難できそうな空き地や、はしご車、救急車の誘導経路、また、倒壊の恐れがある老朽家屋、道路上の障害物など避難の妨げとなるものがないかを確認するため、3班に分かれてまち歩きを行いました。放置されたままの車、通路までのみ出して駐輪されている自転車の列などもあり、確認された改善箇所については、整備されるよう市の担当部署などに連絡しました。



そして、12月15日には主要メンバーが集まり、まち歩きの内容をふまえて作成した避難経路図マップについて意見を出し合いました。集まったのは各町会の会長や副会長です。経路図には住んでいる場所別の避難順路の他、キーパーソンとなる各町会の役員や民生委員の名前、病院、公共機関の連絡先なども載せ、家の冷蔵庫など身近な場所に貼ってもらいます。



避難経路図の完成だけを目的としているのではなく、各町会の人々がマップの作成過程や防災啓発の説明会などを通じて、住民同士が助け合える地域づくりをしていきたいと、代表の佐伯修さんは話します。この活動が蛭池北町から他地域へも広がり、安全安心な地域づくりが促進されることが期待されます。

### ◎今後の予定（平成26年度）

- 1月 地図作成・配布と啓蒙活動
- 2月 説明会開催